



©大田区

# おおたの教育

発行/大田区教育委員会 〒144-8623 東京都大田区蒲田5丁目37番1号ニッセイアロマスクエア5階 TEL 5744-1111(代表) HP <https://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku>

## 今号の主な内容

- 1面 令和6年度教育予算
- 2面 教育長所信表明、令和5年度大田区立中学校生徒海外派遣
- 3面 給食費や学用品購入費の一部などを支給します(就学援助)、特別支援教育の充実に向けて
- 4面 令和5年度大田区教育委員会教育実践功労者表彰

## 令和6年度教育予算

# 笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育てます

3月25日、大田区議会は令和6年度予算を議決しました。区一般会計予算の総額は3,412億円、そのうち教育関係予算は522億円(総額の15.3%)となっています。

令和6年度は、新たな区の基本構想及び『おおた教育ビジョン(令和6~10年度)』の初年度にあたります。教育委員会では、子育て・教育が区政の最重要課題の一つであることを踏まえるとともに、新ビジョンの「笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育てます」という理念を実現するための、新たなチャレンジの第一歩とし、各種施策に取り組みます。

令和6年度予算概要については、大田区ホームページからご覧いただけます。



## 創造的に生きる力の育成

区独自教科「おおたの未来づくり」の新設に向けて **5,160万円**

令和7年度から、小学校第5・6学年を対象とした大田の区独自教科「おおたの未来づくり」を新設します。令和6年度は、小池小学校、出雲小学校、道塚小学校の3校で先行して実施し、27校で教科の研究を進めます。



## 国際都市おおたを担う人材の育成

**3億8,386万円**

おおたグローバルコミュニケーション(OGC)の拡充  
おおた国際教育推進校として新たに羽田中学校を指定し、グローバル人材の育成や児童・生徒の自己肯定感の向上をめざす大田区独自の国際教育を推進します。



## 外国語教育指導員(ALT)の配置時数の拡充

中学校への配置時間を21時間から35時間に拡充します。

## イングリッシュキャンプ事業(TGG)の拡充

小学生を対象に実施しているTOKYO GLOBAL GATEWAY(TGG)での校外学習を中学生にも拡大し、英語での実践的なコミュニケーション能力の向上を図ります。

## 個性と能力を発揮するための基礎となる力の育成

放課後子ども教室における自主学習支援【新規】 **1,021万円**

児童の学習習慣の定着と基礎学力向上のため、宿題や自主的な学習の支援・指導を行うことで、子どもたちの学びたいという意欲を育てます。

東邦大学と連携した食育の研究と実践【新規】  
～おいしくて健康になる給食献立づくり～ **524万円**

東邦大学と連携し、児童・生徒の健康増進に向けた給食献立を共同で研究・開発し、給食提供や家庭との連携を通して子どもたちの適切な食習慣の定着につなげます。令和6年度は小学校4校で試行実施します。

## 自分らしく生きるための学びの支援

区立小中学校給食費無償化 **26億4,341万円**

子育て世帯を支援するとともに学校給食の質の確保と食育の推進を図るため、令和6年度も区立小中学校の給食費の無償化を実施します。



学びの多様化学校(不登校特例校)分教室「みらい学園初等部」の設置【新規】 **1,564万円**

学ぶ意欲はあるものの、大人数の教室が苦手など、在籍校への復帰が困難となっている不登校児童を対象に、大森第四小学校の分教室として学びの多様化学校「みらい学園初等部」を開設します。

特別支援教育の推進 **6億1,773万円**

大田区で初めての「自閉症・情緒障害特別支援学級」を令和6年4月に大森東小学校に開設します。また、令和7年度に嶺町小学校、蒲田中学校で開設をするための教室等の環境を整備します。

さらに、特別支援学級介添員、学校特別支援員の配置を拡充します。

相談支援機能の充実～スクールソーシャルワーカー事業の拡充(学校滞在型) **7,039万円**

社会福祉の専門知識をもつスクールソーシャルワーカーを学校に滞在させる方式を取り入れ、関係機関などと連携して児童・生徒の問題に対応します。

## 学校における働き方改革の推進

部活動の地域連携・地域移行の推進【新規】 **1億8,236万円**

複数校合同による小規模部活動の地域移行のモデル事業として、民間企業と連携したダンスチームを発足させ、外部講師を招いた地域部活動及び発表会を実施します。

モデル校において、地域のスポーツクラブや民間事業者、教員、部活動指導員等を組み合わせたハイブリッド型地域連携・地域移行を実施します。



おおたみらいティーチャー事業(教員独自採用)【新規】 **2,892万円**

欠員に対する代替教員の確保が困難な事態を即時に打開・支援する教員を会計年度任用職員として採用します。

## 教育環境の整備

学校施設の改築・増築 **151億3,150万円**

良好な教育環境の確保と校舎の機能更新のため、18校の改築に向けて取り組みます。また、仮設専用校舎の設置に向け活用計画を策定します。

### 改築

- |           |          |
|-----------|----------|
| ①入新井第一小学校 | ⑩北糀谷小学校  |
| ②東調布第三小学校 | ⑪馬込東中学校  |
| ③赤松小学校    | ⑫萩中小学校   |
| ④田園調布小学校  | ⑬中萩中小学校  |
| ⑤東調布中学校   | ⑭石川台中学校  |
| ⑥矢口西小学校   | ⑮出雲中学校   |
| ⑦安方中学校    | ⑯大森第五小学校 |
| ⑧馬込第三小学校  | ⑰雪谷小学校   |
| ⑨入新井第二小学校 | ⑱糀谷中学校   |

### 増築

馬込小学校



プールシェアのモデル事業【新規】 **3,835万円**

屋内の区営プールを活用し、小学校を対象にプールシェア導入のモデル事業を実施し検証をします。

## 学校・家庭・地域の連携・協働

登下校見守り活動の推進 **147万円**

保護者や地域の方々が日常生活の中で行う「ながら見守り」活動の継続や立ち上げを支援し、児童の安全・安心な環境を拡充します。



放課後居場所づくりの推進 **25億8,439万円**

「放課後ひろば事業」として、小学校内で「校内学童」と「放課後子ども教室」を一体的に実施します。

## 区議会第1回定例会 教育長所信表明

令和6年区議会第1回定例会(2月15日)、小黑教育長が登壇し、所信表明をいたしました。



▲ 小黑仁史 教育長

現在、教育委員会では、令和6年度から5年間にわたる新たな「おおた教育ビジョン」を策定しています。

本日は、新ビジョンで深めたい教育施策について4点申し上げます。

### ①英語教育の充実

今年度、大森東小学校に英語の授業の専用教室「OGCルーム」を設置するとともに、英語専科教員を配置して、低学年から他校の2倍ほどの時間数をとって英語教育を充実させました。授業では、子どもたちが生き生きとテンポよく英語の学習を楽しんでいます。また、OGCルームに設置した大画面の映像は、本当に海外にいるような臨場感があり、登場人物とのやり取りができるなど、英語を話す力がつくだけでなく、国際社会に目を開く効果が大変に大きいと感じます。

来年度は、羽田中学校を国際教育の研究校として指定するとともに、全中学校の外国語教育指導員の配置時数を拡充するなど、新ビジョンにおいて、全小中学生の英語力を向上させてまいります。

### ②中学校におけるSTEAM教育の推進

新教科「おおたの未来づくり」は、令和7年度

から小学校全校で本格実施する予定ですが、新ビジョンでは、中学校版の「おおたの未来づくり」を検討していきたいと考えております。

新教科「おおたの未来づくり」は学校や地域の特色を生かしながら実践され、子どもたちが、夢中になって試行錯誤し、取り組んでいる姿が見られます。

中学生は、小学生よりさらに知識や技能、表現力や行動力があることを強く感じています。中学校版の「おおたの未来づくり」では、小学校で育てた創造的な資質・能力がさらに高まり、どのような活動が展開されるのか期待しております。

### ③コミュニティ・スクールの全校展開

コミュニティ・スクールは、現在小学校14校、中学校4校の計18校に設置されていますが、新ビジョンにおいては、令和8年度末までに全校での導入をめざしています。

現在、先進的に取り組んでいるコミュニティ・スクールでは、まさに、地域の特色を生かした多様な取組が行われています。

各学校の各地域には、それぞれの特色があり、地域や子どもを大切にしている方々がいらっしゃいます。その方々の参画を得ながら、地域と学校の持ち味を生かしたコミュニティ・スクールの全校実施を進めてまいります。

### ④いじめ、不登校など、子どもたちへの支援の充実

令和4年度の不登校児童・生徒数は、小学校540人、中学校743人、計1,283人で増加傾向にあり、喫緊の課題です。

教育委員会では、今年度の4月から、不登校の小学生が通う学びの多様化学校分教室「みらい学園初等部」を旧大森東四丁目センター内に開設いたします。また、学校型の学びの多様化学校「みらい学園」を令和12年度に現在のふれあいほすめまの場所に新設する予定で、教育内容、建築の基本構想など準備を進めています。新ビジョンにおいて、不登校を経験した子どもでも、安心して学び、個性を生かせる新たな学びの場が生み出せるよう取り組んでまいります。

また、いじめや子どもの自殺につきましては、見過ごすことのできない問題であり、命を守る教育とともに、真に子どもやご家族の声に耳を傾ける教育相談を充実してまいります。

これからの未来を生きる子どもたちは、今からは予想だにしない社会の変化とも対峙していくことになります。

教育委員会は、時代の変化を捉え、未来を見据えながら、子どもたち一人ひとりが自分らしく生き抜き、自らの夢や希望を叶え、より良い社会を創り出していくために、今、子どもたちに対して何をしなくてはならないのか、熟慮と議論を重ねながら、教育施策を実行していく必要があります。

子どもたちにとって、笑顔とあたたかさにあふれ、区民の皆様から信頼される教育環境を創り上げていくことが、教育委員会の使命であり、区民の方々に対する責務であります。

このことを改めて深く自覚し、子どもたちに寄り添った教育をめざしてまいります。

## 令和5年度 大田区立中学校生徒海外派遣

大田区立中学校生徒海外派遣が4年ぶりに実施されました。本事業は、海外での生活体験をとおして、外国の生活や文化の理解を深めるとともに、外国語の習熟を図り、国際社会において信頼と尊敬を得られる人間性豊かな生徒を育成することを目的として実施しています。

昨年度は、派遣団を11月3日(祝)から11月10日(金)までの8日間、大田区の姉妹都市であるアメリカ合衆国セーラム市と、大田区と同様に、ものづくりが盛んな都市であるドイツ連邦共和国ブレーメン市に派遣しました。

両コースとも、各市庁舎を表敬訪問しました。また、新たな取組として、現地の学校の学生と交流を行いました。各コースの様子を紹介します。



### 学校交流の様子 (アメリカ合衆国・セーラム市)



交流では、派遣生が現地の同年代の学生に、自分が選んだ日本の文化を英語で伝え、コミュニケーションを図りました。



### 市庁舎への表敬訪問 (ドイツ連邦共和国・ブレーメン市)



市庁舎を表敬訪問し、歴史・文化遺産の見学、現地の方々との交流会等の国際交流を行いました。

また、報告会を12月17日(日)大森第四中学校の体育館にて開催しました。報告会では、派遣生徒がグループごとに、英語を使って現地での経験を参観者に伝えました。質疑応答の時間では、参観者からの問いかけに対し、生徒たちが意欲的に答える姿が見られました。

# 学びの多様化学校分教室「みらい学園初等部」を開設します

本区の不登校児童・生徒は国や都と同様、増加傾向にあります。

これを受け、学ぶ意欲はあるものの、在籍校への復帰が困難となっている子どもたちの新たな学びと成長の場を提供することを目的に、旧・大森東四丁目センターを活用し、令和6年4月1日(月)に学びの多様化学校分教室「みらい学園初等部」を開設します。

### ～教育の特徴～

- 登校時刻の配慮等ゆとりある生活時程の設定
- コミュニケーション能力の向上を目的としたソーシャルスキルトレーニングの実施
- 区独自教科「おおたの未来づくり」を柱としたカリキュラム



▲ 教育活動のイメージ (みらい学園中等部の様子)



### 対象

- (1) 大田区立小学校(4～6年生)に在籍している児童
- (2) 心理的に不安の傾向があり、連続または継続して30日以上長期欠席の児童(病気又は経済的な理由を除く)
- (3) 大田区教育委員会分教室入退室検討委員会が適当と認めた児童

※少人数による細やかな指導を行いますが、障がいのある児童・生徒の支援を目的とした教室ではありません。

【問合せ】 指導課 指導主事 TEL: 5744-1435 FAX: 5744-1665

# 「第1回おおた地球さんご賞」作文・エッセイコンクール入賞作品・入賞者発表

水や環境問題に心をひらく子どもたちを育てることを目的に募集した「第1回 おおた地球さんご賞」作文・エッセイコンクールの入賞作品・入賞者が決定しました。令和5年度は474作品(小学生110作品、中学生364作品)の応募がありました。

このコンクールは、区内在住の直木賞作家安部龍太郎氏が、令和4年度、福岡県八女市でスタートした「地球さんご賞」事業の大田区版であり、大田区では初めての取組です。

令和5年度は全国4か所(福岡県八女市、岡山県高梁川流域、静岡県静岡市、大田区)で実施しています。

主催は、一般社団法人水のもり文化プロジェクト、大田区教育委員会が共催で、企業からの協賛をいただき、公民連携事業として実施しています。



▲ 詳細はこちらから



▲ 表彰式の様子

【問合せ】 教育総務課 教育地域力推進担当 TEL: 5744-1447 FAX: 5744-1535

# 学用品購入費などの一部を支給します(就学援助)

### 対象

小・中学生のこどもの保護者で、大田区に在住の方のうち、下記のいずれかに該当する方

- ①生活保護を受けている(要保護認定者)
  - ②同一生計を営む世帯全員の令和5年中の総所得金額等が認定基準所得金額に満たない(準要保護認定者)
- ※直近で家計が急変した世帯については、問合せまでご相談ください。

### 〈認定基準所得金額の目安〉

世帯人数	2人	3人	4人	5人
給与所得の目安	300万円	362万円	405万円	485万円
収入の目安(参考)	431万円	507万円	561万円	662万円

※認定基準所得金額は、家族の年齢構成等によって異なります。表の金額は、あくまで目安です。

### 援助内容

- 認定された場合は、下表のA・Iの援助が受けられます。ただし、認定区分・学年及び申請月によって費目や支給額は異なります。
- 要保護認定者(生活保護受給者)の方は、下表のAの費目について生活保護費から支給されるため就学援助での支給はありません。
- 就学援助は、認定された方に就学援助費を支給するものであり、教材費等の学校納付金が免除されるものではありませんので、学校の案内どおりにお支払いください。

A	○学用品費 ○新入学用品費 ○体育実技費(購入者のみ) ○給食費 ○通学費(特別支援学級(固定)通学者のみ)
I	○校外授業費 ○移動教室参加費(参加者のみ) ○修学旅行参加費(参加者のみ) ○クラブ活動費(小学校4～6年生のみ) ○卒業アルバム費(購入者のみ) ○医療費(対象疾病のみ)

※上記費目について、保護者の負担がない場合は支給対象外となります。

※新入学用品費について

新入学用品費は、入学前に支給を行っています。令和7年4月に中学校へ入学する子どもがいて、入学前に受給を希望する場合は、小学校6年生の時点で就学援助の申請を行ってください。

### 申請方法

4月上旬に学校から配布する「令和6年度就学援助費受給申請書」を期日までに学校へ提出してください。なお、大田区以外の区市町村立及び国立・都立・私立小中学校に通っている場合は、下記までお問い合わせください。

【問合せ】 学務課 学事係 TEL: 5744-1429 FAX: 5744-1536

# 自閉症・情緒障害 特別支援学級の新設

区では、障がいのある児童・生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援するという視点に立ち、児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、それに対応した適切な指導や支援を行うために、特別支援学級(固定学級)を設置しています。

知的発達に遅れがなく、自閉症や情緒障がいにより在籍学級での学習に適應することが困難な状況にある児童の支援先として、大田区で初めての「自閉症・情緒障害特別支援学級」を令和6年4月に大森東小学校に開設します。

なお、令和7年度には嶺町小学校、蒲田中学校に同特別支援学級の開設を予定しています。引き続き、児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援する環境を整備していきます。

令和6年4月1日開設  
**大森東小学校**

【問合せ】 学務課 特別支援教育担当  
TEL: 5744-1440 FAX: 5744-1536

# 令和5年度 大田区教育委員会 教育実践功労者表彰

教育委員会では、区の教育の発展に貢献し、その功績が顕著で、優れた教育実践を行った教員を「教育実践功労者」としてその功績をたたえ、毎年表彰しています。令和5年度は、9名の方が受賞されました。

今後も大田区の教育のためにご尽力いただき、こどもたちの健やかな成長を支えていただきたいと思います。受賞者のコメント(上段)・表彰理由(下段)を紹介します。

しみず のぶあき  
**清水 信昭 主任教諭**  
(入新井第一小学校)

### コメント

大変光栄な賞をいただきありがとうございます。様々な人に支えられ、「ONE TEAM」で楽しく働くことができる今に感謝です。これからも、こどもたちのために全力で頑張ります。

### 表彰理由

区独自教科「おおたの未来づくり」の研究において、「ファースト・レゴ・リーグ」への参加を通じたカリキュラム開発に挑み、全国大会出場の成果をあげた。学校運営改善のプロジェクトチームのリーダーの一人として「教科担任制の推進」に貢献した。

ひらさわ ゆうじ  
**平澤 勇二 主任教諭**  
(入新井第一小学校)

### コメント

コロナ禍で制限された音楽活動の中で、試行錯誤しながらこどもたちが楽しめる授業実践を行ってきたことを評価していただき光栄です。今後も日々精進してまいります。

### 表彰理由

大田区教育研究会音楽部器楽分科会研究主任として熱心に取り組み、若手教員の模範となっている。また、ICTを活用し、児童の学びが深まる授業を取り組んでいる。50人以上の吹奏楽クラブでの指導にも力を入れており、合同演奏会でも成果を披露している。

きのした しゅんいち  
**木下 俊一 主幹教諭**  
(東糀谷小学校)

### コメント

毎日こどもたちと共に学び、共に笑い、楽しく過ごさせていただいております。引き続き東糀谷小学校を生活指導の面から支え、どの子も笑顔で通える学校を目指してまいります。

### 表彰理由

生活指導主幹として、生活指導重点目標の「自分からすすんであいさつをする」を率先垂範し、成果をあげた。また、教員が地域行事に主体的に参加できるようシフトを構築し、自らも地域貢献をする中、児童・保護者・地域から厚い信頼を得ている。

しんぼ あつし  
**眞保 篤 主任教諭**  
(東糀谷小学校)

### コメント

地域コーディネーターとして、地域と学校、こどもをつなぐ仕事に尽力してまいりました。今後とも伸びゆくこどもたちの姿を協働で支えられるよう研鑽を積んでまいります。

### 表彰理由

地域コーディネーターとして、コミュニティスクールの推進を図り、教育活動の充実に貢献した。また、特別支援教育コーディネーターとして、校内委員会を推進し、組織的な丁寧な対応を牽引している。ICT担当としては、専門性を生かして、定期的なOJTや授業公開を行い、他教員の模範となっている。

ながしま とおる  
**長島 徹 主幹教諭**  
(東糀谷小学校)

### コメント

今まで私が行ってきたことが認められたようで、大変嬉しく思います。今後もこどもたちにより良い教育ができるよう、日々励んでいきます。ありがとうございました。

### 表彰理由

学校運営のリーダーとしてコロナ後の学校行事の実施や教育課程の着実な実施に尽力した。新人育成担当としては、若手教員の授業観察を定期的に行い、教員の自信や自己肯定感の向上に努めた。また、地域行事に主体的に参加し、児童・保護者・地域から厚い信頼を得ている。



こばやし まほ  
**小林 真穂 主幹教諭**  
(矢口小学校)

### コメント

未来を担うこどもたちの「生きる力」をどのように育むか、日々追究してきました。この度、このような賞をいただき光栄に存じます。今後もこどもたちに寄り添い、こどもたちの成長のために努力してまいります。

### 表彰理由

研究主幹として、独自教科「おおたの未来づくり」のカリキュラム開発に尽力し、児童の主体性を育む模範的授業実践を行った。また、企業や団体との授業連携について、幅広く交渉にあたり、特に地元の商店街とは連携を深め、多大な貢献をした。

いなざわ ゆかり  
**稲澤 縁 主幹教諭**  
(大森第八中学校)

### コメント

第22回目を迎えた「ものづくり教育・学習フォーラム」に立ち上げのころから携わり、特にものづくり競技会が心に残っております。更なる発展を祈念しております。

### 表彰理由

大田区内中学校の5校33年間にわたり、技術家庭科の指導に熱心に携わり、大田区教育研究会技術・家庭科部において、教員の指導・育成にも貢献した。また、ものづくり教育・学習フォーラムの創世期から係わり、競技会やものづくり教育発表者の指導・育成を推進し、多大な貢献をした。

おきやま ゆういち  
**沖山 雄一 主幹教諭**  
(東調布中学校)

### コメント

この度は表彰していただきありがとうございます。素直な生徒や頼りになる同僚に出会えたこと、地域、保護者の皆様からのご支援、私の家族の支えの賜物と思っています。

### 表彰理由

生活指導に力があり、地域関係者や保護者から信頼を得ている。不登校生徒対応でも、生徒・保護者に寄り添う丁寧な対応を実践し、他教員の模範となっている。社会科授業では、ICTを活用した教材を工夫し、主体的、対話的な場面を引き出す授業を展開した。

やまざき たかし  
**山崎 卓 主幹教諭**  
(大森第六中学校)

### コメント

この度は、名誉ある賞をいただき、光栄です。校長先生をはじめ、教職員、生徒と保護者の皆様、地域の方々に感謝を申し上げます。これからも「おおたの教育」の発展のため、力を尽くす決意です。

### 表彰理由

教務主任を務め、教育課程の円滑な実施に力を発揮するとともに、各種文書の見直しを行い、業務改善が図られた。また、理科教員として、実験・観察の機会を豊富につくり、体系的に丁寧で分かりやすい指導を行い、さらに積極的にICTを活用し、生徒の関心・意欲を高めている。

### 【写真】

- 前列左から  
清水主任教諭  
平澤主任教諭  
眞保主任教諭  
長島主幹教諭
- 後列左から  
小林主幹教諭  
稲澤主幹教諭  
沖山主幹教諭  
山崎主幹教諭
- 上部左上  
木下主幹教諭(当日ご公務のためご欠席)



問合先 教育総務課 庶務係  
TEL : 5744-1422  
FAX : 5744-1535



## 歯と口の健康に関する ポスターコンクール

特別支援学校・特別支援学級  
図画・ポスターの部 1位

**河野 未来**  
(大森第八中学校2年)



※受賞当時の学年を記載しています

## 受賞おめでとうございます

All Japan XTC 2023  
トリッキングバトル キッズバトル 優勝 **鈴木 琉太** (大森第七中学校 2年)

令和5年度東京都小学生科学展  
東京都教育委員会賞 **早川 梓希** (調布大塚小学校 6年)

第16回キャリア教育優良教育委員会、  
学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰  
**北糀谷小学校**

※受賞当時の学年を記載しています

### 教育委員会定例会の主な議題

- 令和5年第12回定例会(12月22日開催)  
・(仮称) おおた教育ビジョン(素案)について
- 令和6年第1回定例会(1月25日開催)  
・第22回ものづくり教育・学習フォーラムの開催報告について
- 令和6年第2回定例会(2月19日開催)  
・ものづくり教育・学習フォーラム出品作品の展示について

### 教育委員会の開催予定日

- 日程 ①4月26日(金) ②5月23日(木) ③6月24日(月)
- 時間 ①午後3時から ②・③午後2時から
- 場所 蒲田5-37-1 ニッセイアロマスクエア5階 教育委員会室

※予定が変更になる場合があります。  
※傍聴を希望する方は、あらかじめ下記問合先へご確認ください。  
※手話通訳・要約筆記が必要な方は開催日1週間前までに、その他特別な配慮が必要な方は事前にご連絡ください。

問合先 教育総務課 庶務係 TEL : 5744-1422 FAX : 5744-1535